



びわ湖疏水船の航路延伸

かつて京都と琵琶湖を結んでいた舟運が、約70年ぶりに復活した「びわ湖疏水船」。

この春、これまで滋賀県側の起点としていた三井寺から、びわ湖・大津港まで航路を約1.5km延伸しました。



1 ロマンいっぱいの歴史

明治期の偉人が揮毫したトンネル出入口の「扁額」や赤レンガ造りの「旧御所水道ポンプ室」などを間近で見ることができます。特に全長2,436mに及ぶ第1トンネルでは、ほとんどの作業を手作業で行った先人たちの苦勞を肌で感じることができます。

2 四季折々の美しい風景

春のサクラや秋の紅葉はもちろんのこと、新緑の季節も実はおすすめ。青モミジのトンネルを船で進めば、水面に反射し、辺り一面が幻想的な深緑の世界に。

3 魅力的な専門ガイド

乗船中は、知識豊富な専門ガイドが皆様をご案内。それぞれ個性溢れるメンバーが揃っており、ユーモアたっぷりの話術で旅を盛り上げます。



New 6 雄大な琵琶湖を小型船で満喫、明治時代の航路を追体験



航路延伸によって、遂に母なる湖・琵琶湖へと漕ぎ出すびわ湖疏水船。細緻な疏水路を抜け、眼前に広がる景色は上り便ならではの。また、下り便では明治時代の物流を支えた舟運ルートを追体験できます。

航路延伸で更に広がる！ びわ湖疏水船の7つの魅力

4 2種類の船旅

びわ湖疏水船の船旅は、上りと下りで全く異なります。上りは爽快に風を切って進み、下りはゆったりと水路を巡ります。景色の見え方の違いを体感してみるのはいかがでしょうか。



New 7 大津閘門での水位調整体験

人工の運河である琵琶湖疏水と琵琶湖の間には、50cm～100cm程度の水位差が設けられています。この水位差を克服して船を通すため、「水のエレベーター」とも呼ばれる大津閘門が設けられました。

2つの水門を交互に開閉し、閘門で区切られた部屋の中の水位を上り下らせることで、水位を調整して船を通します。



5 山科観光のススメ

疏水沿線の山科エリアは、隠れた観光スポット。天智天皇陵や毘沙門堂など、見所が盛りだくさん。散策道「そすいさんぽ」も整備されているので、散歩にもうってつけです。山科で途中下船して、沿線を散策してみるのも魅力的！

運航日程・料金等は [びわ湖疏水船](#) ウェブサイトを御覧ください。
アクセスはコチラ ▶



【郵送・FAXお申込先】
びわ湖疏水船受付事務局
〒600-8023
京都市下京区河原町通松原上ル2丁目
富永町338 京阪四条河原町ビル7階
(株)JTBC京都支店内
TEL:075-365-7768 FAX:075-365-7757

ご乗船は完全予約制となります。
お申込み方法

びわ湖疏水船 WEB予約システムから予約。
※乗船当日の2時間前まで可能

乗船申込書で、郵送またはFAXで予約。
または

